

卒園式の翌日、写真とともにいただいたお手紙です。

園長先生、^{注1}健先生

二年間ありがとうございました。

園長先生が見学の際、「うちは何も教えませんよ」

「預けっぱなしはだめですよ」「期待しないで下さい。」云々…

とんでもない！

我が子の引き出しの中には、自信と期待がいっぱい入りました。

日々の引継ぎ^{注2}の中で気持ちは小学校に切り替わっています。

親が離れがたいですね。

^{注3}久しぶりの幼稚園、楽しかったです。

少子化の中、三人兄弟の珍しくない「なかの幼稚園」が

全てを物語っていると思います。

健先生のお話、笑いの中に、なかのを楽しむ？〈子育てを楽しむ？〉

ヒントがたくさんありました。

^{注4}サッカークラブに入らず、残念ですが、近くのクラブで頑張るみたいです。

また遊びによらせて下さい。

注1＝なかの幼稚園の理事長を皆さん、こう呼んでいます。

注2＝3学期、年長の子ども達が年中の子ども達に、自分たちが行ってきた、係りの仕事を引き継ぐ活動のこと。

注3＝上のお子さんと年が離れた、末っ子の弟さんでした。

注4＝なかの幼稚園を卒園した子ども達を中心にした、サッカークラブがあるのです。